



Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

評価報告書

キリバス共和国

— 2017年度 地域巡回機能回復等支援事業—
(終了時評価—2018年4月)

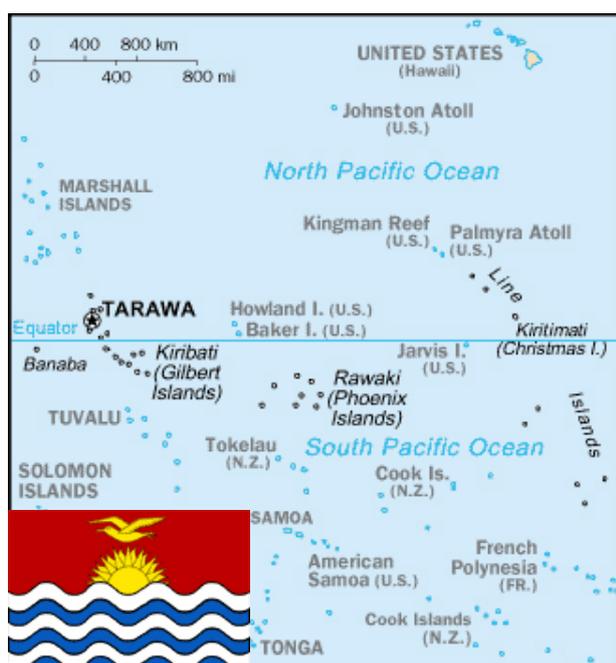
事業概要

国名	キリバス共和国
プロジェクト名	2017年度 FDAPIN VI プロジェクト
実施期間	2017年8月3日～2018年3月31日
相手国政府覚書署名省庁名及び実施機関	覚書署名省庁： 漁業海洋資源開発省 (MFMRD) 実施機関： 漁業海洋資源開発省水産局

プロジェクト実施の経緯と背景

キリバス共和国（以下「キリバス」という。）の「キリバス国家漁業政策 2013-2025（Kiribati National Fisheries Policy 2013-2025）」では、「持続的漁業、養殖、海洋資源開発を通じた経済成長と雇用機会の創出並びにキリバス国民の食糧安全保障と生計の維持を目標として掲げている。これらの達成については、特に社会的、経済的分野で開発が遅れている離島地域の漁業開発・振興を基本戦略にしている。

このような戦略の下、キリバス政府は各種の漁業振興施策を実施しているが、特に同国の離島における水産関連施設は、故障や老朽化あるいは運営管理の不備等のため



本来の機能を発揮することができず、漁業の開発・振興に支障を来している。

このため、キリバス政府は、公益財団法人海外漁業協力財団（以下「財団」という。）に対し、水産関連施設の修理・修復及び技術移転並びに関連組織への指導・助言について支援要請を行った。

財団は、我が国とキリバスの漁業関係の重要性を踏まえ、同国政府の漁業振興施策を支援するため、本プロジェクトを実施した。

目標・成果・活動内容等

上位目標	修理・修復対象施設周辺地域の漁業生産性が向上し、小規模漁業が発展する
プロジェクト目標	水産関連施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術の向上 水産関連施設の管理・運営の改善及び活性化・自立化の促進
成果	<p>① 漁業海洋資源開発省 (Ministry of Fisheries and Marine Resources Development : 以下「MFMRD」という。)主催アベママ島漁業センター及びノノウス島漁業センターでの船外機整備技術講習会の支援 アベママ島漁業センター及びノノウス島漁業センターの船外機整備及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。</p> <p>② アベママ島漁業センター、ノノウス島漁業センター及びアバイアン島漁業センターの製氷機・発電機のメンテナンス指導 アベママ島漁業センター、ノノウス島漁業センター及びアバイアン島漁業センターの製氷機・発電機整備及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。</p> <p>③ タナエア水産局ワークショップスタッフ整備技術向上のための指導及び施設整備 タナエア水産局ワークショップスタッフの船外機整備及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。</p> <p>④ 漁業開発のための漁具作成、漁獲物加工及び安全操業への講習会支援 各地の漁業者の漁具作成、漁獲物加工及び安全航海に関する技術が向上する。</p>
活動	<p>① MFMRD 主催アベママ島漁業センター及びノノウス島漁業センターでの船外機整備技術講習会の支援 アベママ島漁業者及びノノウス島漁業者に対し、船外機の整備及び保守・管理手法の指導を行った。</p> <p>② アベママ島漁業センター、ノノウス島漁業センター及びアバイアン島漁業センターの製氷機・発電機のメンテナンス指導 電装部品の交換等を行い、各漁業センターの製氷機・発電機を修理・修復した。また、アベママ島漁業者、ノノウス島漁業者及びアバイアン島漁業者に対し、製氷機・発電機の修理・修復に係る技術指導を行った。</p> <p>③ タナエア水産局ワークショップスタッフ整備技術向上のための指導及び施設整備 クレーントラックの整備を行うとともに 60 馬力船外機の実機の教</p>

	<p>材を使用してオーバーホールを実施した。また、ワークショップスタッフに対し、整備工程の指導を行った。</p> <p>④ 漁業開発のための漁具作成、漁獲物加工及び安全操業への講習会支援</p> <p>アベママ島、ノノウス島及びタラワ島テマイク村の漁業者に対し、曳縄漁具作成及び魚燻製製造、安全航海の訓練を実施した。</p>
<p style="text-align: center;">投 入</p>	<p>財団側</p> <p>・ 専門家 :</p> <p>計画</p> <p>第1回巡回指導 : チームリーダー/漁船機関・冷凍機器専門家 漁船機関・冷凍機器専門家 漁労・加工専門家 冷凍機器技術者 2017年11月上旬～12月上旬(30日)</p> <p>第2回巡回指導 : チームリーダー/漁船機関・冷凍機器専門家 漁船機関・冷凍機器専門家 冷凍機器技術者 2018年1月上旬～2月上旬(30日)</p> <p>実績</p> <p>第1回巡回指導 : チームリーダー/漁船機関・冷凍機器専門家 2017年10月22日～11月24日(34日) 漁船機関・冷凍機器専門家 2017年10月26日～11月24日(30日) 漁労・加工専門家 2017年10月26日～11月23日(29日)</p> <p>第2回巡回指導 : チームリーダー/漁船機関・冷凍機器専門家 漁船機関・冷凍機器専門家 2018年2月6日～3月4日(27日)</p> <p>延日数</p> <p>計画 : (210人・日) 実績 : (147人・日) (計画対比 : 67%)</p> <p>・ 主な資機材 :</p> <p>講習会用船外機、発電機、製氷機、船外機部品、工具、製氷機部品 発電機の消耗品、クレーントラックの部品</p> <p>・ 事業費 :</p> <p>予算額 25,647千円 実績額 25,565千円 (予算対比 : 99.68%)</p> <p>相手国側</p> <p>・ 主なカウンターパート :</p> <p>① MFMRD 主催アベママ島漁業センター及びノノウス島漁業センターでの船外機整備技術講習会の支援 Marine technician of Fisheries, MFMRD</p>

	<p>(2018年2月9日～2018年2月15日) (2018年2月19日～2018年2月25日)</p> <p>② アベママ島漁業センター、ノノウス島漁業センター及びアバイアン島漁業センターの製氷機・発電機のメンテナンス指導 Marine mechanic, MFMRD (2017年11月4日～2017年11月7日) (2017年11月13日～2017年11月21日) Marine technician of Fisheries, MFMRD (2018年2月9日～2018年2月15日) (2018年2月19日～2018年2月25日)</p> <p>③ タナエア水産局ワークショップスタッフ整備技術向上のための指導及び施設整備 Marine mechanic, MFMRD (2017年11月1日) Marine technician of Fisheries, MFMRD (2018年2月27日～2018年3月1日)</p> <p>④ 漁業開発のための漁具作成、漁獲物加工及び安全操業への講習会支援 Marine mechanic, MFMRD (2017年11月3日～2017年11月10日) Officer, MFMRD (2017年11月13日～2017年11月22日)</p> <p>・プロジェクト関連予算、土地、施設等 MFMRD、水産局、各離島漁業センターにおける電気・水道・電話(国内通話)・発電機燃料の無償提供、国内資機材搬送費の負担、移動用スピードボートの提供</p>
--	---

評価事項

◆ 妥当性

1. 対象国政府の水産振興政策との整合性

本プロジェクトは、キリバス政府が策定した国家開発戦略に目標として掲げる「持続的漁業、養殖、海洋資源開発を通じた経済成長と雇用機会の創出並びにキリバス国民の食糧安全保障と生計の維持」に合致した事業内容であり、妥当と判断される。

2. 効力ニーズ（対象国、対象地域）との整合性

キリバス国政府から、水産関連施設の修理・修復及び現地技術者への技術移転並びに関連組織への指導・助言を要請されており、事前調査においてアベママ島漁業センター及び

ノノウス島漁業センターでの船外機整備技術講習会、アベママ島漁業センター及びノノウス島漁業センター、アバイアン島の製氷機・発電機のメンテナンス、タナエア水産局ワークショップスタッフへの整備技術向上のための指導及び施設整備、漁業開発のための漁具作成、漁獲物加工及び安全操業に関する講習会に対する協力ニーズが高いことが確認されている。

3. 環境に対する配慮はなされていたか

周辺の環境を汚染する恐れのある冷凍機、発電機、船舶機関等の廃油、冷媒等の廃棄は今回のプロジェクトでは発生しなかった。また、廃棄部品が発生した場合は環境に配慮し、分解等を行い、技術指導及び予備部品、廃品回収等で再利用できるよう保管する様に技術指導をした。

4. 水産資源に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトは、水産関連施設の機能回復を図り、その運営・管理に対する助言を行うものである。今回の対象施設は製氷・冷蔵施設、発電機等であり、その機能回復を図るものである。製氷活動が再開されることで間接的に現地零細漁業者の漁業活動が活発になることが想定されるが、氷を用いる漁業者は底釣り、引き縄、魚突き漁業等の無動力カヌーを利用した零細漁業者が主であり、漁獲圧力は高くはなく水産資源に対する負荷は極めて限定的である。

5. その他（プロジェクト関連予算、土地、施設等受け入れ態勢は決められたとおりに実行されたか等）

特になし。

◆ 効 率 性

1. 事業費及び実施期間

事業費は予算額内に収まり、実施期間は計画した期間より短縮されたことから、効率性は高い。（予算及び計に対比：事業費 100%、実施期間 67%）

2. 資機材、施設、専門家はタイミングよく投入され、期待された機能、能力を発揮していたか

資機材及び専門家は、実施計画に従いタイミングよく投入され、プロジェクト活動は計画期間内にすべて完了し、それぞれ期待された機能及び能力を発揮した。

3. 移転技術はカウンターパートの習得水準に適合していたか

移転技術は、専門家が事前調査においてカウンターパートの技術水準を見極めた上で指導内容を検討しており、実施に当たっては適切な指導が行われたことから、カウンターパートの水準に適合していた。

4. 状況の変化、教訓・提言等に応じて実施計画、活動項目は、適宜見直されてい

たか

特になし。

5. その他（プロジェクトの効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）
特になし。

◆ 有効性

1. プロジェクト目標の達成度

1) プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標：

(1) 水産関連施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術の向上

計画どおり水産関連施設の機能が回復し、また、必要な技術移転が行われ、技術指導によるカウンターパートの基礎知識及び技術レベルは益々向上したことからプロジェクトの目標は達成された。

(2) 水産関連施設の管理・運営の改善及び活性化・自立化の促進

アベママ島、ノノウス島及びテマイク村の漁業者・住民に対する魚燻製加工、漁具作成、安全航海の講習会を支援した。その結果、各島漁業者の漁業技術、水産加工品の加工及び安全航海に関する技術、カウンターパートの講習会での指導能力が向上し、漁労効率の改善、地域コミュニティの活性化・自立化が促進されたことから、プロジェクトの目標は達成された。

2) その他（プロジェクト目標の達成度と外部要因との関係等）

特になし。

2. プロジェクト活動項目及び期待された成果の達成度

(1) MFMRD 主催アベママ島漁業センター及びノノウス島漁業センターでの船外機整備技術講習会の支援

<期待された成果>

アベママ島漁業センター及びノノウス島漁業センターの船外機整備及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

アベママ島漁業者及びノノウス島漁業者に対し、座学及び実技により、船外機整備手法の指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、各漁業センターの活動が活発になった。

(2) アベママ島漁業センター、ノノウス島漁業センター及びアバイアン島漁業センターの製氷機・発電機のメンテナンス指導

<期待された成果>

アベママ島漁業センター、ノノウス島漁業センター及びアバイアン島漁業センターの製氷機・発電機整備及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

施設の修理・修復を行い、アベママ島漁業者、ノノウス島漁業者及びアバイアン島漁業者に対し、保守・整備手法の指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、各漁業センターのメンテナンス技術及び整備技術が向上し、施設及び機器の稼働が円滑になった。

(3) タナエア水産局ワークショップスタッフ整備技術向上のための指導及び施設整備

<期待された成果>

タナエア水産局ワークショップスタッフの船外機整備及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

ワークショップスタッフに対し、船外機の整備工程の指導を行ったことにより、技術レベルが向上した。

(4) 漁業開発のための漁具作成、漁獲物加工及び安全操業への講習会支援

<期待された成果>

各地の漁業者の漁具作成、漁獲物加工及び安全航海に関する技術が向上する。

アベママ島漁業者、ノノウス島漁業者及びテマイク村漁業者に対する漁具作成、魚燻製造及び安全航海の講習会を支援したことにより、漁具作成、漁獲物加工及び安全航海に関する技術が向上した。

◆ インパクト

1. プロジェクト上位目標の達成に対し、プロジェクト目標の達成の効果はどの程度見込まれるか

本プロジェクトの実施により、製氷機、発電機、船外機の修理・修復に関する水産局のカウンターパートの技術が向上するとともに、カウンターパートの講習会での指導能力が高まったことから、プロジェクト目標は達成された。

今後、各漁業センターの製氷機、発電機が順調に稼働し、また、カウンターパートが各離島で漁具作成や魚燻製造の指導を順調に行うことができれば、上位目標である修理・修復対象施設周辺地域の漁業生産の増加、小規模漁業の発展の達成に一定の効果を及ぼす

とともに、キリバス政府が策定した国家開発戦略に目標として掲げる「持続的漁業、養殖、海洋資源開発を通じた経済成長と雇用機会の創出並びにキリバス国民の食糧安全保障と生計の維持」の達成にも寄与する。

2. プロジェクトは相手国・対象地域の政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果または負の影響が見込まれるか

本プロジェクトの実施により、各漁業センターの製氷機、発電機が安定的に稼働し、周辺漁民に氷が円滑に供給されるようになった。今後、製氷施設が順調に稼働すれば、魚価が上がり漁民の所得が向上することから、対象地域の経済の活性化に直接的な効果を及ぼす。

また、氷は地域住民にも供給されることから、民生向上に寄与し、対象地域の社会・経済に直接的な効果を及ぼす。

3. その他（ターゲットグループに対するインパクトや、プロジェクトの計画当初予見できなかった効果または負の影響が見込まれるか等）

特になし。

持続性

1. プロジェクト終了後もカウンターパート及び供与された資機材は有効に活用されるか

カウンターパートは MFMRD の職員で、プロジェクト終了後も引き続き本施設を担当する予定である。供与された資機材は、各漁業センターの稼働及び運営・管理に必要なものであり、プロジェクトを通じてカウンターパートに適切に技術移転されたことから、プロジェクト終了後も有効に活用される。

2. プロジェクト終了後も効果は持続される見込みか

本プロジェクトにより施設機能が強化され、継続的な活動を可能にする環境が整備された。また、キリバス政府はその国家開発戦略に基づき離島漁業センターの活用を推進しており、こうした漁業センターの継続的運営が同国の沿岸漁業振興に不可欠であることを認識し、センター運営に積極的に関与している。従って、本プロジェクト終了後もこの効果は持続的に発揮される見込みである。

3. その他（持続性に影響を与えると考えられる貢献・阻害要因等）

特になし。

以上